

SENBOKU スマートシティコンソーシアム

設立総会 開催報告

開催日時：令和4年6月27日（月） 15：00～

開催場所：国際障害者交流センタービッグ・アイ

（堺市南区茶山台 1-8-1）

■堺市 永藤市長 あいさつ

皆様こんにちは。堺市長の永藤です。
設立発起人として、また地元自治体の代表としてご挨拶をさせていただきます。

私は、今から35年以上前にこの泉北ニュータウンに暮らしていました。

当時の泉北ニュータウンは、若いファミリーが多くて、魅力的な住空間や近隣センターをはじめワクワクするような場所がたくさんありました。当時の私にとっては泉北ニュータウンが生活の全てでした。

その泉北ニュータウンは、1967年のまちびらきから今年で55年が経過しました。インフラは老朽化して、お住まいになられている方々の高齢化が進んでいます。課題が顕在化している地域だと認識をしています。

では泉北ニュータウンの魅力が損なわれてしまったのかというと、決して私はないと考えています。3つの駅を中心として計画的に設計された住みよい環境。そして、農空間と共存する自然や緑道が多くあります。人間が暮らす居心地の良い空間は、決して損なわれてはいません。新型コロナウイルス感染症の問題によって、私たちが生活したり、働くことに対する考え方が大きく変わる中、むしろ魅力は高まっていると感じています。

私は、まさに今、泉北ニュータウンが新しい価値観のもとで、大きくはばたく時だと考えています。

これまで堺市、大阪府、様々な企業や団体など多くの方々が協力をしながら、泉北ニュータウンの活性化の取組を進めてきました。その中では「泉北ニュータウン再生」というフレーズが多く使われていましたが、再び生まれる・元に戻すというよりも、新しくこれからの泉北ニュータウンを皆様と一緒に考えて創り上げていきたいという思いで、昨年「SENBOKU New Design」を策定しました。

そして「SENBOKU New Design」を先端技術やサービスを積極的に導入しながら実現するために、「SENBOKU スマートシティ構想」を公表しています。

今回のコンソーシアムは、皆様と思いを共有して、多くの方に関わっていただき、泉北ニュータウンの課題解決と住民の皆様の暮らしの質（クオリティ・オブ・ライフ）の向上をめざします。

泉北ニュータウンは、西日本最大級のニュータウンです。私たちのこれからの取組が、全国のニュータウンのモデルケースになってほしいと考えています。関わっていただく皆様には、泉北ニュータウンでの成功事例を、ぜひ全国の同じような課題を抱える地域に広げられるように取り組んでいただきたいと思います。

皆様と思いを一つにして、この泉北ニュータウンをさらに魅力ある地域とするために、皆様とWin-Win の関係を構築しながら進められるように、堺市が責任を持って取り組みます。どうぞよろしくお願いいたします。



■南海電気鉄道株式会社 高木代表取締役専務執行役員 あいさつ

南海電気鉄道 高木でございます。

今回多くの方々にご賛同いただき、泉北ニュータウンの新しいまち作りに取り組めることを、大変心強く感じております。

泉北ニュータウンは、弊社では本拠地難波とともに最重要のエリアでございます。現在の経営計画でも、「泉北ニュータウンのサステナブルなまちづくり」を主要な事業施策のひとつとして設定し、グループを挙げて、また関係者と共創の上で取り組んでまいります。

そして、泉ヶ丘におきましては、次代の沿線中核都市をめざし、4月から駅前活性化計画が始動いたしました。駅前広場として地域の皆様に愛されてまいりました泉ヶ丘ひろばを多層的コミュニティ空間として拡充し、2025年に移転予定の近畿大学医学部並びに病院へのウォークアブルな動線づくりを行うほか、不足しておりました働く場などの新たな機能も拡充してまいります。

また、弊社では選ばれる沿線に向けて、沿線の「暮らす・働く・訪れる」価値を高めるべく地域共創型まちづくりを掲げております。すなわち、地域のニーズに沿ってまた地域の課題に向き合い、お住まいの方、自治体、企業と様々なステークホルダーと共創協働し、持続可能な社会の実現を図り、持続的な企業価値の向上との両立をめざそうとするもので、まずは泉北ニュータウンでの具現化を図ってまいり、そしてここにいらっしゃる皆様方とともに、多世代の方が豊かな生活を育めるスマートシティを作ってまいりたいと思います。

ぜひ実装に繋がる取組に積極的なご参加をお願い申し上げまして、設立準備会設立企業としてのご挨拶とさせていただきます。



■大阪ガス株式会社 近本常務執行役員 あいさつ

大阪ガスの近本でございます。

本日は本コンソーシアムの設立総会に多数ご参加いただきまして、本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

1970年の大阪万博に合わせるかのように、日本全国でニュータウンの開発ラッシュがおきました。ここ、泉北ニュータウンもそのひとつでございます。当社は、まちびらきから4年後にエネルギーセンターを泉ヶ丘駅前に開設いたしまして、運営をして今日に至っており、泉北ニュータウンはゆかりのある土地柄でございます。この半世紀以上の歴史を持ちます泉北ニュータウンで、新しい取組になりますスマートシティコンソーシアムに参加できますことを大変嬉しく思っております。



政府は、2020年に発表いたしました脱炭素宣言以来、全国的に脱炭素をめざす働きかけを加速してございます。弊社グループも、昨年1月に「Daigasグループ カーボンニュートラルビジョン」を発表いたしまして、2050年にカーボンニュートラルを実現するということをめざして今、活動しているところでございます。

そこで、まずはエネルギーセンターを軸にいたしまして、会員の皆様のご協力をいただきながら、エリア全体の脱炭素を図っていくという大きな目標に向かって、取り組んで参りたいと思います。

加えまして、近年増加してございます災害に対する備えとしまして、分散電源等の設置を通じまして、エリアのレジリエンスを向上させて、安心安全なまちづくりを実現してまいりたいと考えております。

堺市様は環境省の定める脱炭素先行地域に今年の4月に選ばれました。泉北ニュータウンエリアはその重点エリアにあたります。コンソーシアムにご参加いただける皆様方と連携を密にしながら、全国に先駆けた先進事例を作ってまいりたいと思っております。

引き続きの皆様のご協力をお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

■西日本電信電話株式会社 小川執行役員 あいさつ

NTT 西日本の小川でございます。

本日は大変お忙しい中、SENBOKU スマートシティコンソーシアムの設立総会にご参加いただきまして、準備会設立企業といたしまして、心から御礼を申し上げます。

本コンソーシアムは、公と民がイコールパートナーとして、ICT を活用して持続的に発展するスマートシティを実現することを目的としております。重点分野ごとにワーキンググループを設置いたしまして、それぞれがあるべき姿や、マイルストーンを設定して検討を進めてまいります。そして、イノベーションを実装する環境作りや、各プロジェクトのスピーディーな実行、そしてデータ連携をすることによって、新たなサービスを生み出していきたいと考えております。



弊社におきましては、社会を取り巻く環境が様々変わる中、地域が抱える課題に対して、ICT の力で解決すべく、今取り組んでいるところでございます。本コンソーシアムにおきましても、データを相互に連携させることによりまして、そこから生まれる新たな付加価値を提供する検討をしていきたいと考えてございます。

そして、地域にお住まいの皆様の声を集約分析することによりまして、その成果を今後の取組に活かしていく、そういった仕組み作りにも取り組んでいきたいと考えております。

コンソーシアムの取組におきまして、市民の皆様との共創の場として活性化することを心から願っております。そして、その取組が今後の社会基盤として浸透し、そして発展することを、我々も尽力して取り組んでまいりたいと考えております。

今後も地域社会の一員として、あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求し続けるために、我々も技術と知恵をしっかりと磨きながら、新たな価値の創造に取り組んでいきたいと考えてございます。

以上大変簡単ではございますが、準備会設立企業としての挨拶に代えさせていただきます。

■堺市南区自治連合協議会会長、岸本啓司会長 あいさつ

南区自治連合協議会 岸本です。

本日、たくさんの皆さんがご参加され、SENBOKU スマートシティコンソーシアムが設立されましたこと、本当におめでとうございます。一地域住民といたしまして、心よりお祝い申し上げます。

泉北ニュータウンは丘陵地を切り拓いて、居住空間、自然豊かな農村地帯、一体となって開けてきた地区です。

しかし、まちびらきから半世紀以上が過ぎました。この半世紀の間に、どこも一緒ですけど、高齢化の波が押し寄せております。高齢者のみの世帯も増加をしております。若者も地区を離れていくという傾向がございます。その中で、皆さんが、今日こうして新しい取組をするためにあつまっていただけたこと、本当にありがたいことだと思っております。民間事業者、大学そして行政、さまざまな人たちが、力を合わせ、より良いものにしていこうという気持ちのもと、この総会が開かれるものと思っております。一地域住民といたしまして、そういう力強い言葉には、本当に感謝申し上げたいと思います。

今日より皆さん方と共に、地域住民の1人として、お手伝いできることはお手伝いをし、言わなければいけないことは言わしていただくということで、タッグを組みながら、次へ進みたいと思っております。

民間事業者の皆さまにおかれましては、費用対効果を求められることは当然だと思います。一企業として、その辺は我々も理解はさせていただいております。

今後の未来に向け、高齢者が泉北ニュータウン地域に住み続けてよかったね。若者世代が、泉北ニュータウンに居続けたいな、他からも来たいなと言っていただけのようなまち作りを、皆さん方と力を合わせて、やっていきたいと思っております。

しかし、我々の力は一部分です。今日お集まりの皆さん方が、本当に最後の最後まで力をあわせていただき、それが未来永劫続くように、挙げていただいた手を下げることなく、この泉北NT地域と皆さん自身の価値を上げていただきたいのです。

途中下車は、認めません。

最後の最後まで、やり抜こうではありませんか。それを我々地域住民は見ております。企業の姿勢も見ております。当然行政の力の入れ具合も我々は見させていただきます。

皆さん、今日のこの総会をスタートに、頑張ろうという気持ちで立ち上げたと思えます。

どうか、これからも皆さん方が、力を合わせ、泉北ニュータウン地域、どこよりも住み続けられる街ですよということを祈念いたしまして、簡単ではございますが、総会のお祝いの言葉にさせていただきます。

どうか皆さん一緒にやりきりましょう。どこが終点かわかりませんが、終点はないと思う気持ちで。発展、発展、発展。それをめざすことが、このコンソーシアムの特徴ですよということで、我々も力を合わせていきたいと思えます。

どうかよろしく願いいたします。



■SENBOKU スマートシティコンソーシアムのビジョンと取組について

堺市長 永藤です。

それでは、設立総会にてご承認いただきました SENBOKU スマートシティコンソーシアムのビジョンと今後の展望につきまして、コンソーシアムの運営委員会を代表してご紹介します。

<大阪府のスマートシティフィールド>

まず大阪府内で進めようとしているスマートシティについてです。

現在 2 期工事が行われている「うめきた」や、2025 年大阪・関西万博の会場となる「夢洲」、そして今年 4 月に開学した大阪公立大学の新キャンパスが置かれる「森ノ宮」、これらのエリアは未来に向けた新しいチャレンジを進めていく「先進技術活用型地域」と言えます。

これに対して、この泉北ニュータウン地域は、都市インフラが老朽化して住民の高齢化が進み、様々な課題が顕在化しているという現状から、いわば「課題先進地域」と表現できるのではないかと考えています。私たちは目の前の課題に対して、それらを解決するための手段として取組を進める「課題解決型」のスマートシティをめざしています。皆様と取り組むこのスマートシティの挑戦や成長が、大阪全体の発展、そして全国で同じような課題を抱える地域の発展につながると考えています。

<泉北ニュータウン地域の魅力と課題>

それでは、この泉北ニュータウン地域の魅力と課題とは何でしょうか。

まず課題としては、まちの老朽化や人口の高齢化、そして泉北丘陵を切り拓いて造成されたので、アップダウン（起伏）が激しいことが挙げられます。駅前の地域にお住まいの方々は買い物も行きやすいと思いますが、少し離れたところになりますと特に高齢の方にとっては難しい状況です。

一方で魅力も多くあります。まずは緑空間です。堺市の中で緑が圧倒的に多いのがこの泉北ニュータウン地域であり南区です。

また、主要地点、例えば難波まで電車で 1 本、関西国際空港にもバス 1 本で行くことができます。アクセスに優れているのがこの泉北ニュータウン地域の魅力です。さらには計画的に整備された住宅地であり、住環境において大変高いポテンシャルを有しています。

「SENBOKU New Design」では「かつてのベッドタウンから、より豊かに暮らせるまちへ」を理念として、ICT 等の先端技術を用いて持続可能なまちをめざすことを掲げています。

<コンソーシアムのめざす姿>

このことを実現すべく、今回設立した組織が「SENBOKU スマートシティコンソーシアム」です。

コンソーシアムは、民間事業者の皆様や住民の皆様にご協力いただく「公民共創」で、そして分



野を横断しながら課題解決をめざします。

住民の皆様が日々の生活でお困りになっていることや解決してほしいと感じている課題を、新しい技術やサービスを導入し、ICTやデータを活用することによって課題解決を図ります。また住民の皆様の生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）の向上をめざします。

<体制>

次に体制についてです。

SENBOKU スマートシティコンソーシアムの分野としては大きく5つを考えています。モビリティ・エネルギー・ヘルスケア・スマートタウン・データ連携です。現在、私たちが特に注力して行いたい分野にワーキンググループを設けています。

そして、運営委員会は月に1回程度、総会は年1回程度開催します。この組織において、泉北ニュータウン地域での課題解決に向けた実証プロジェクトやサービスの実装に取り組みます。

<コンソーシアムの主な取組>

今の時点でコンソーシアムの会員が計画している主なプロジェクトをご紹介します。

<具体的な取組 オンデマンドモビリティ>

まずはモビリティの分野です。

一つは、オンデマンドモビリティ、利用する方の視点に立って運行される乗り物です。

乗り継ぎが苦手な高齢の方やお子さんも自宅近くから目的地まで安心して移動ができる交通手段であり、泉北ニュータウンのように高低差がある地形であっても、身近なお店や病院、公共交通まで便利で快適に移動していただくことができます。

まずは今年度中の実証に向けて開始したいと考えています。既存の移動手段とも組み合わせることによって、利便性や事業性など異なる分野での相乗効果を生み出します。

<具体的な取組 シェアリングモビリティ>

もう一つはシェアリングモビリティ。移動手段や乗り物を共有し、個人で所有をせずに気軽にご利用いただく仕組みです。

電動自転車・電動カート・電動キックボード・EV等、新たなモビリティをシェアすることにより、幅広い世代の方が距離や利用シーンに応じて最適な移動手段を選択できる環境をめざします。

まずは単独モビリティから実証を開始する予定ですが、オンデマンドモビリティ、シェアリングモビリティを活用しながら、複数の移動手段や生活の様々な場面に関わるサービスと連携することによって、最適な仕組みを構築したいと考えています。

また、データ連携のワーキンググループとも連携しながら、それぞれの移動や移動以外の分野とも相乗効果を発揮できるように取組を進めます。

<具体的な取組 エリアの脱炭素化と災害時の強靱化>

次は、エリアの脱炭素化と災害時の強靱化です。

これは堺だけではなく世界的にも非常に重要な課題です。堺市では「2050年CO2排出量実質ゼロ」を掲げて取組を進めています。今年4月には、国が指定する脱炭素先行地域に大阪府で唯一

選定をされました。コンソーシアムにおきましては、会員様と連携した2つの取組によって脱炭素化と地域の強靱化を同時に進めます。

1つ目の取組は、現在のエネルギーセンターをスマートエネルギーセンターに改修して、CO2排出量実質ゼロの冷暖房や防災・減災のための停電時電力供給を行う仕組みを構築します。

2つ目の取組は、個別の住宅に太陽光発電と蓄電池を導入することにより、再生可能エネルギーを有効活用します。さらに燃料電池も導入することで、停電時にも電源が確保できると同時に防災・減災が実現できる仕組みをめざします。

<具体的な取組 地域の健康増進を支えるサービス>

次に、地域の健康増進を支えるサービスです。

ヘルスケア分野では、健康寿命の延伸をめざして、地域の健康を支える取組を進めます。その一例として、南海電気鉄道様と本コンソーシアムの会員の株式会社NSD様が連携して提供するスマホアプリ「へるすまーと泉北」の取組では、スマホ教室を開催しながらサービス利用を促し、イベントも開催されるなどリアルとデジタルを組み合わせる健康増進に繋げています。

2025年にはコンソーシアムのアドバイザー会員の近畿大学医学部・病院が泉北ニュータウンに開設されます。「泉北ニュータウン地域に暮らすと健康になれる」と思っていただけのように産学公で取組を進めます。

<具体的な取組 市民共創によるプロジェクト活性化>

そして市民共創によるプロジェクトの活性化についてです。

スマートシティを進めるには、「市民と共に創る」という視点が欠かせません。住民の皆様のご意見を活かしながらコンソーシアムで実施する様々なプロジェクトを共創したいと考えています。

これまで堺市としても市民の声をお聞きする仕組みはありましたが、デジタルの技術を活用することによってこれまで以上に住民の皆様との接点を増やして、コンソーシアムに取組に参加しやすい仕組みを整備します。「一緒になって地域の課題を解決する」取組を進めます。

<具体的な取組 コンソーシアムの取組をつなげるポータル>

具体的な取組の最後は、コンソーシアムの取組をつなげるポータル（入口・玄関）です。

ご紹介したワーキンググループの取組を統合し、発信するために、コンソーシアムの地域ポータルを整備します。地域ポータルでは、大阪府が今年度から整備する「ORDEN」という都市OSの仕組みと連携し、堺市民に共通のID「Sakai-D」を導入することで、コンソーシアムが提供する様々なサービスをワンストップでお届けし、個人の趣味や嗜好に合わせた情報が受け取れるようになります。

またサービスを順次拡大していくために、スタートアップを含めた様々な事業者が参入できる仕組みを構築します。

<2025年までのロードマップ>

最後にこれからの進め方についてです。

これまでこの泉北ニュータウン地域では多くの企業や団体、住民の皆様にご協力をいただいて、

特にヘルスケアを中心とした多くの実証プロジェクトを実施してきました。そして本日、SENBOKU スマートシティコンソーシアムが設立されました。

これから「SENBOKU スマートシティコンソーシアム」が本格的に稼働し、まずは大阪・関西万博が開催される 2025 年をめざして取組を加速させます。

泉北ニュータウン地域での先進的な取組が全国のニュータウンの未来を創り出し、大阪、関西、そして日本の発展につながると私は確信しています。皆様と思いを共有しながら進めたいと考えています。

最後になりますが、本コンソーシアムの会費は無料とさせていただいています。取組にあたりましては、思いを同じくする皆様から「企業版ふるさと納税」も受け付けていますので、ご検討いただけますと幸いです。

SENBOKU スマートシティコンソーシアム、いよいよ発足しました。皆様、どうぞよろしくお願ひします。



